



平成25年6月3日

★梅雨前に冠水時迂回路の現地確認をしました。

平成25年5月20日(月)に、佐賀国道事務所鳥栖維持出張所職員と道路維持業者とで、出水期に備え「轟木アンダーパス」が冠水した際の迂回路の現地確認を行いました。

「轟木アンダーパス」とは、国道34号がJRの長崎本線高架下を通っている箇所、周辺地に比べ地盤が低いので非常に浸水しやすい箇所となっています。

約3時間ほどの時間をかけ、徒歩で現地を回り、「排水経路」「冠水時の迂回路」「看板設置・人員配置位置」などの再確認を職員と道路維持業者の合同でおこないました。

冠水時には迅速な対応を行いたいと参加者全員が気持ちを新たにしました。

轟木アンダーパス(福岡側より)



冠水時の迂回経路、確認中



轟木アンダーパスの排水経路



看板設置・人員配置位置 確認中



